

Rドロップスの設計と ご検討にあたって

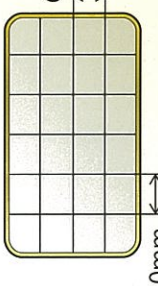
1. 設計

- びん種：リユースびん
 - 容量：(満量) 220 ~ 230ml
 - 質量：245 ~ 280g
 - L 値(びん軽量度)：1.60 ~ 1.95
 - 炭酸飲料の充填：可
- ※容量・びん質量の設定は、現段階では絞り込んでおりません。
- ※ガス圧・充填条件による、内容物の充填可否の確認は別途、必要となります。

2. 留意事項

- Rマークびん
『Rドロップス』は汎用型のRマークびんを想定しています。(びんを再使用することが前提となります。)
- 金型手配
『Rドロップス』のびん金型は、お客様の採用が正式に決まっただけの手配となります。金型費用等は、別途、ご相談となります。
- びん製造ロット
びんの最小生産本数は、基本的に1日生産分となります。

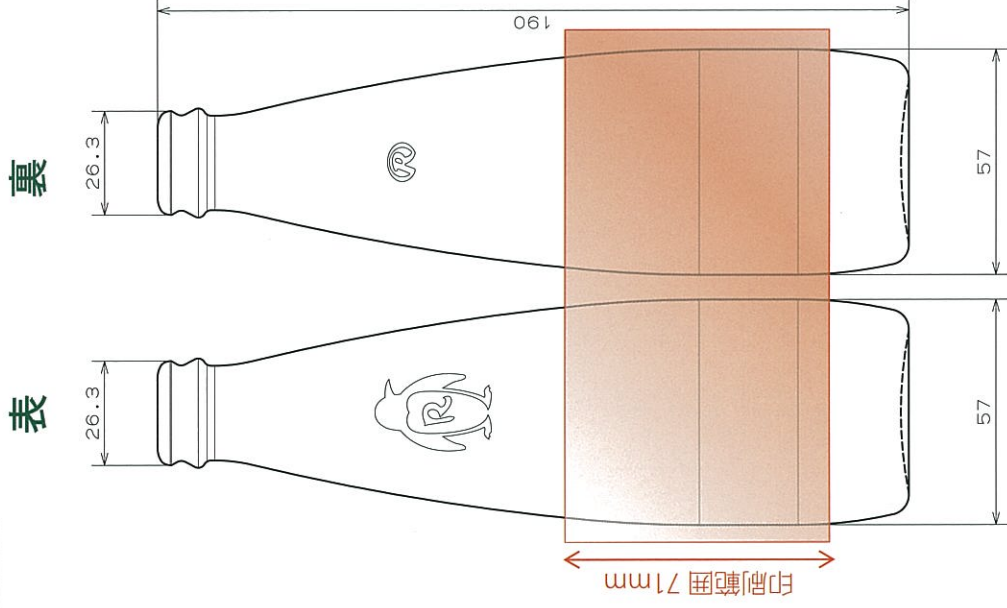
適合クレートサイズについて

- 『Rドロップス』は、実際にリユースびんで多く使用されているクレート(P箱)のサイズを考慮して設計しています。
 - 以下の仕様のクレートであれば、『Rドロップス』にそのまま使用頂ける予定です。
- 
- ※内寸高さ：220~240mm
- クレートサイズ協力企業名(順不同)
(株)コダマ飲料、キンキサイイン(株)、(資)森川飲料、中京サインボトリング 協業組合、東京飲料(資)

Rドロップス栓抜きもデザイン!

- 『Rドロップス』を王冠口で設計するにあたり、ツールとして『Rドロップス栓抜き』をデザインしてみました。
- 『Rドロップス』と併せて、こちらでもご検討頂く事が可能です。
- 詳細はびん再使用ネットワークまでお問い合わせ下さい。

かわみぬき
極抜き®

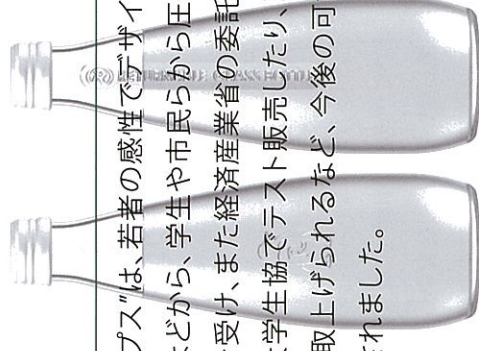


【Rドロップスデザイン案】

※上記デザインは案であり、寸法は確定したものではありません。

①“Rドロップス”とは

- “Rドロップス”とは、2007年、びん再使用ネットワークが環境活動に取り組む学生やごみ問題の解決を目指す市民団体のメンバーと一緒に開発した“軽くて、持ちやすく、スタイリッシュで、携帯可能な”新しいリユースびんのこと。“R(あーる)ドロップス”という愛称も大学生が考えたものです。



“Rドロップス”は、若者の感性でデザインを優先したことなどから、学生や市民から圧倒的な支持・共感を受け、また経済産業省の委託事業として3つの大学生協でテスト販売したり、政府の広報番組で取上げられるなど、今後の可能性が大きく期待されました。

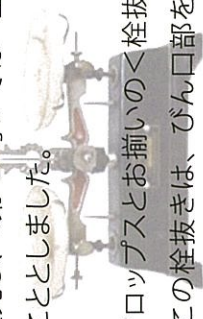
②<第2号>開発の経過

- ところが、“デザイン優先”ということが逆に現在の設備で使用できない事業者が限られてしまい、実際に事業展開の検討を進めてみると、“消費者は欲しいけれども事業者が使えない”という“壁”にぶつかかり、立ち行かなくなってしまうのです。

このため、2009年1月、(社)全国清涼飲料工業会の協力を得て、「Rドロップス<第2号>開発プロジェクト」準備会を立ち上げ、「Rドロップス<第1号>」の趣旨を活かしながらも、現在の事業者の生産ラインで使用できるびん形状のデザイン化を目指して開発しました。

③王冠を選んだ理由と栓抜きについて

- 「Rドロップス<第2号>」の開発にあたり、もともと悩んだのは、びん口部です。というのも、<第1号>はリキャップできる“スクリュー”タイプでしたが、スクリュータイプのびんを再使用する場合、マシンによるびん口検査をしなければならず、事業者に大幅な設備投資が必要になってしまいうからです。
- このため、今回は、現在の事業者の設備で使えることを優先し、<第2号>では“王冠”仕様を選択することとしました。
- なお、Rドロップスとお揃いの<栓抜き>も企画中です。この栓抜きは、びん口部を傷つける事なく容易に王冠をはずせるよう特別にデザインされたもので、おしやれで、しかも栓抜きの技能が追求されたものとなっています。



④今後について

- 「Rドロップス<第2号>」を使ってみたいという事業者や、「Rドロップス<第2号>」で飲みたいという消費者をどんどん増やして、実導入を進めることが目標です。
- 尚、「Rドロップス<第1号>」を諦めたわけ

ではなく、今後、「Rドロップス<第2号>」が普及し、将来的にリユースがあたり前の社会になれば、「Rドロップス<第1号>」の普及にチャレンジしたいと思っています。

